

18. 仮設工

18-1 仮設橋梁



留意事項

- 黒板を入れて撮影する。
 - 手前の余分なスペースが大きく写っているのでアングルを上げる。
- △仮設は工事完了後撤去されるため、写真は重要な記録資料となる。

撮影方法

- 指定仮設は、工法や形状寸法が規定されているので、規定どおりか確認するために撮影する。
- 仮設の位置付けがわかるように背景にも留意する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法
- 仮設の使用材料の幅、長さ、高さなどの仕様、仮設の略図を記入する。

18-2 仮廻し水路



留意事項

- 黒板に材料の仕様、水路断面形状の高さや幅・延長を入れ、仮設の仕様がわかるようにする。

撮影方法

- 仮設の全体状況が把握できるように撮影する。
- 指定仮設の場合、使用材料の仕様、水路断面形状の高さや幅などを確認できるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 水路の高さ・幅・延長
- 使用材料の仕様
- 断面の略図を記入する。

18-3 仮廻し道路



留意事項

- 黒板を手前におき記入内容がわかるようにする。
- ポールを立てて、起終点を明確にする。
- 逆光でリボンテープが明確に読みとれない。

撮影方法

- 測定箇所はもちろんのこと、前後の連続性も確認できるアングルで撮影する。
- 起終점에ポールを立てて測定範囲を明確にする。
- リボンロッドに張力を加え、たるまないようにする。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法を記入する。

18-4 仮締切工



留意事項

- マーキングがないため、鋼矢板の枚数が確認できない。
- 右側の鋼矢板が隠れているため、仮締切工の正面から撮影するように工夫する。

撮影方法

- 撮影箇所はもちろんのこと、周辺の状況がわかるアングルで撮影する。
- 施工枚数が確認できるように鋼矢板に番号をマーキングして撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 施工状況
- 鋼矢板の規格、長さ、打込み枚数を記入する。

18-5 濁水処理施設（プラント全景）



留意事項

- 撮影対象が小さく、奥の濁水処理プラントの設置状況がわかりにくい。
- 撮影位置の変更やズームを使用するなどの工夫を行い撮影する。
- 目的に応じて個々の施設を近接して撮影する。

撮影方法

- 撮影方向を同じにしてズームアップ写真を撮影する。
- プラントの形状と全体の設置状況がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 設備規模を記入する。